



青森県の工業高校機械科を卒業後、2005年4月、ポラスグループの建築技術訓練校に入校。埼玉は縁もゆかりもない地だった。

訓練校では「道具を大切に  
する気持ち」を育てるため、大  
工道具一式を自腹で揃える。  
当時は、道具を手入れる意  
味も分からなかったが、12年  
の時を経て、このほど40歳以  
下の青年技能者に与えられる  
建設ジュニアマスター顕彰を  
受賞するまでに、「技能五輪」  
や「技能グランプリ」におい  
ても好成績を残している。

訓練校を卒業後は、フレイ  
マーとして上棟作業に従事。  
現在は建築大工として年間8  
〜10カ所の現場に立つ。  
東北人の気質か、目立つこ



休みの日にはバレーボールやバスケットボールで体を動かす。バレーボールは、地域のチームに所属し大会に出場も

とを好まないが、地道に仕事  
に取り組む姿勢が評価され、  
いまでは「馬場さんにお願  
いしたい」という依頼が増えて  
いるという。

4年前には、中内代表が自  
宅を建設する際、建設メンバ  
ーの一人として作業に携わっ  
た馬場さん。「普段は一緒に  
仕事することのないメンバ  
ーの作業を間近で見たこと  
で、その仕事をぶりに触発され  
ました」

一人暮らしが始まった埼玉  
の地。今では家族も増え、仲  
間も増えた。夏の風物詩であ  
る南越谷阿波踊りには訓練校  
OBで結成している「おきら  
く連」のメンバーとして地域  
にも溶け込んでいる。(A)

建築大工の技術が評価され建設ジュニアマスター顕彰を受賞

ポラスハウジング協同組合大工

馬場 和樹さん